



広 報

ひだ

町 木



第103号

肥田町自治会

肥田町
まちおこし
推進協議会

謹賀新年

自治会長 元 持 正 行

謹んで新年のお祝い申し上げます。

よき新春を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。又自治会役員、各種団体役員、組長の皆様には、特にご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。町民の皆様のご理解、ご協力をもとに昨年は地域活動のご賛同、ご参加を賜りまして、誠にありがとうございました。

昨年をふりかえりますと、世界ではロシア・ウクライナ情勢や中東での新たな戦いなど、海外情勢の緊迫度も増す中で、日本では明るいニュースを目にする事が多かったように思います。待ジャパンがWBC制覇、その他スポーツ界の選手活躍にも日本中が元気づけられたのではないのでしょうか。

なかでも38年ぶりに阪神が「アレ」で日本一を達成し、各地で盛り上がりしました。

自治会に



紅白梅盆栽

於きましては、8月には子供会が生き物観察会を開催しました。いつもなら、東町の川で魚や生き物を採って観察するのですが、当日は熱中症アラートが発令されたため、屋外の活動は中止し公民館で農事組合法人肥田町ファーム理事長による、地域の環境・地域の農業・生き物の種類についての話を伺いました。子供たちが、興味深く聞き入っていたのが印象に残っています。

また11月には、4年ぶりに稲枝地区文化祭が開催されました。肥田町からも、日頃趣味などで制作されている作品を出品して頂きました。皆様にはたくさんのお品、心よりお礼申し上げます。

令和3年より始まった肥田町の下水道工事、昨年より登町内の工事に入り、西町とスムーズに進んでおります。当初、令和6年に西町、令和7年に東町の予定でしたが、今年3月にはすべての下水道工事が終了する予定です。

大学前の歩道整備も、前任者の方々のご尽力により、今年2月下旬に完成予定となります。

自治会活動は、町民皆様の参加をもって成り立っています。より実のあるものにしていくためにも、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、本年がす

ばらしい年となりますようにご祈念申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭にあたつて

農事改良組合長 鹿 島 能 孝

謹んで新春をお祝い申し上げます。

こうして皆様と新年を無事に迎えられたことを、心より嬉しく思う次第でございます。平素より改良組合の諸行事にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去夏は記録的な猛暑の日々が続き、また11月に入っても季節外れの暖かい日々が続いたり、米や豆の生育に少なからず悪影響を及ぼしました。全国的に米の作柄も悪く、例年ですと8割を超える1等米の比率が今年は6割程度に留まる見込みです。新潟では記録的干ばつで稲が全滅した地域があったり、また秋田では集中豪雨による浸水被害が出たりと、日本のみならず世界規模で地球環境が狂ってきているように思います。

去年は今まで行ってきた道普請作業を敢えて取りやめ、初の試みとして日頃手の付け難く雑草が伸び放題となっていた場所の草刈りを致しました。組合員の皆さま、暑い中本当にご苦勞様でした。

私の任期も今年度までとなりますが、最後まで手を抜かず努めさせて頂く所存でございます。

末筆ではござ

います、本年が良き年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



祝

ご長寿の
お慶びを
申し上げます

卒寿 (昭和十年生まれ)

川松 芳子さん

藤野 英子さん

米寿 (昭和十二年生まれ)

藤野 信一さん

鶴野 順子さん

喜寿 (昭和二十三年生まれ)

薩摩 三次さん

福原 快隆さん

薩摩千恵子さん

大村すて子さん

成宮 一郎さん

大村 治郎さん

森野美佐子さん

古希 (昭和三十年生まれ)

大村 吉継さん
元持 弘子さん
児玉美代子さん
松村庄之丞さん
青木 洋さん
鵜野 忠さん
瀧 政久さん
前田 均さん

還暦 (昭和三十九年生まれ)

薩摩 敬造さん
薩摩 恵子さん
青木希与子さん
成宮伊佐夫さん



大村 仁衣菜さん



新年あけましておめでとうございませう。
こうして無事に成人という大きな節目を迎えることができたのは、家族や友人、地域の皆様の支えのおかげだと、大変感謝しております。

成人としてはまだまだ未熟なところばかりですが、お世話になった方々へご恩を返していけるよう、責任のある行動を心掛け、より一層精進していきたいと思っています。

私は現在大学で文学について学びつつ、演劇部の一員として部の運営に励んでいます。大学の部活動といえども組織の運営というものは難しく、山積する課題を一つ一つ解決することに迫られています。皆が心地よく活動できるような部を目指して運営に取り組みたいと思います。勉学の方では、日本文学や中国文学などについて深く学び、自分の強みを生かせるような道を見出せるよう、励んでいきたいと思っています。

これからも周りの方々に助けていただくことがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

藤野 真帆さん



二十歳を迎えられたことは、周りの方々の支えのおかげであると感じています。これからは、その

方々に恩返しできるような大人になれるよう精進する所存です。

今私は、大学で現在の日本の社会問題について学んでいます。特に日本企業の経営面に興味を持っており、ゼミを通して深く知れることは私にとって大きな財

産になると感じています。また、メディア関係の会社のインターンにも参加させてもらい、自分の未熟さを痛感するとともに、自分を成長させるチャンスでもあるため、学業と両立し励んでいます。

また、はっきりとした将来の夢はないのですが、大学や仕事で得たものが生かせるような職に就くことが出来るよう、一つ一つ疎かにすることのないように毎日を過ごしていきたいと考えています。まずは、残りの学生生活に悔いが残らないように、積極的に行動し、自分なりに頑張っていきたいです。

薩摩 汀那さん

新年あけましておめでとうございます。

成人を無事に迎えられたことを嬉しく思います。私は、現在通っている学校では様々な年代の方と関わる機会が多く、あまり慣れない環境の中で緊張する毎日でした。その中で学んだことがあります。年齢が違ったとしても、相手と同じ目線で、顔の細かな表情の動きを捉えることで、思っていることが少しでも伝わってくるということがわかりました。また、相手の意見を尊重し共感すること、信頼関係を築く一歩となり、自分の考えの幅を広



げることができました。この学びは、将来の私の夢である仕事に大きく影響してくると思います。今年は、もつとこのような学びが深められるような一年にしていきたいです。

中村 彦太さん



新年あけましておめでとうございます。
今年無事に二十歳を迎えられました。

こうして二十歳を迎えることができたのも、親だけでなく、学校の先生方や友人、地域の方々のおかげだと思っております。こうして二十歳を迎えたことにより、一層大人として責任を持って言動など日々の生活に気をつけていきたいと思っています。

私は将来、幼いころから好きだった自動車関係の仕事をしたいと思い、自動車整備士の専門学校に通っています。これからの自動車は、電気や水素といった新しい技術がたくさんでてきて整備も難しくなると思いますが、それでも車の事をしっかり学び、どんな自動車でも直せるような整備士になりたいと思っています。整備士は昔と違い、お客さんと接する仕事なので、日頃からあいさつなどかかさず続けていけたらなと思っています。これからの人生、どんな事があるかわかりませんが、人に誇れるような大人になりたいです。

「ご支援いただいている皆様方」

肥田町自治会活動にご支援いただいている皆様方について、町民の皆さんにご紹介させていただきます。

聖泉大学様

「これまでもこれからも」

肥田町自治会ならびに町民の皆さまには、平素より本学の教育研究に対しご理解ご協力をたまわり、厚くお礼申し上げます。

既にご承知いただいているとおり、本学は昭和六〇年四月、聖隷学園聖泉短期大学として、この稲枝・肥田の地に開学しました。人間に例えると今年三十八歳になります。足腰の痛みもなく、疲れが翌日に残るといったことも稀で、現役バリバリといったところでしょうか。今日、大学が元気でいられるのも、地元の皆さまのご支援があつてのことと、重ねてお礼申し上げます。

現在の聖泉大学は「人間学部」「看護学部」「大学院看護学研究科」「別科助産専攻」に約五百名の学生が学び、約八十名の教職員が学生の育成に努めています。本学学生の学びの中心は心理学や看護学にあります。田んぼや畑の交流は難しいかもしれませんが、こころや身体の問題について、膝を交えて交流の場が持てるのではないかと、ひとりの大学職員として思いを巡らせています。

SDGs「住み続けられるまちづくりを」を共通課題に、WinWinの取り

組みをよろしく願いたします。これまでもこれからも。

株式会社FTI様

新春の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

肥田の地にて事業をしてはや6年が過ぎました。弊社は産業機器の設計・製作を行うことを事業としております。特に自動車を生産する設備を多く手掛けており、自動車メーカー、大型車メーカーに関連する生産設備を設計製作しております。

直近では新型クラウンの生産設備の一部にも携わっております。

日常生活の中でお使いの様々な工業製品を品質の高いものを効率よく、たくさん、安価に生産できるよう私どもはいつも精進しております。間接的ですが、みなさまの生活の一助となることを誇りに思いながら、今後も取り組んでいこうと存じます。

小さな会社で至らぬことも多いかと存じますが、今後ともよろしくお願いたします。



成宮鍼灸整骨院様

成宮鍼灸整骨院は平成26年に開院し、肥田町の皆様にご愛顧頂きお

かげさまで10年目を迎えました。日頃のご理解とご協力有難うございます。

当院は1階が整骨院、2階が美容部門です。

1階の整骨院では、日常の生活で起こる痛みや部活動でのケガなど、首、肩、腰、足あらゆる痛みや不調に対して国家資格を持つ先生が治療をしています。治療は健康保険が適用できます。また交通事故後の治療も行っています。

2階の美容部門では、脱毛、小顔ハイフ、エステダイエットなどのメニューを女性スタッフが完全個室で施術しています。脱毛は小学校高学年から可能で、最近流行りの介護脱毛で来られる方が多く見られます。エステダイエットでは、最新機器と整骨院仕込みのマッサージで痩せながら美肌を手に入れる事ができます。地域の皆様の美容と健康をしつかりサポートします。今後とも宜しくお願い致します。

この他、

・株式会社伊関商会様

・株式会社希望ヶ丘スポーツプラザ様

からも自治会活動に対してご支援いただ

いておりますのでご紹介させていただきます。

ご支援いただいている皆様方に、改めてお礼を申し上げます。

町民の皆さんによる
これまでの主な活動等

6月4日 宇曽川堤防の草刈り

町民の皆さんによる宇曽川堤防の草刈りに取り組みました。生い茂っていた草も刈り取られ、きれいな堤防になりました。



7月2日 大津井川・顔戸川の清掃

大津井川等町内の川の清掃に取り組みました。川の中の草刈りや堆積した泥の除去などに取り組んでいただきました。



●10月29日 肥田町文化祭

公民館において、肥田町文化祭を開催しました。20名26作品の出品がありました。



●11月12日 グラウンド・ゴルフ大会

日頃、練習に励んでおられる皆さんを中心に、少し寒い日ではありましたが、元気にグラウンド・ゴルフを楽しんでおられました。運動不足を嘆いておられる皆さんも、一度、挑戦されてみてはどうでしょうか。



課題への対応など

●6月 県道沿いの側溝の残土撤去

町内を南北に通る県道沿いの側溝内に溜まっている残土について、近年の集中豪雨時に排水の機能が十分に果たせなくなる可能性があることから、県にその処分をお願いしていましたが、今般、湖東土木事務所において対応していただきました。



●7月 自治会役員・月当番・組長等の名札の更新

老朽化していた自治会役員等の名札について、軽量で雨にも強い素材で更新するとともに、新しく「組長」の名札を作成しました。



●9月 防犯カメラの増設

集荷場の前に設置していましたが防犯カメラは、撮影できる方向が限られていたため、今回、防犯カメラを増設し集荷場前の4方向が撮影できるようになりました。



●9月 消火栓用のホースの交換

町内にある消火栓用のホースについては、設置以降、更新されず老朽化が激しい状態でしたが、今般、肥田町で利用していたきたいとの寄贈の申し入れをいただきましたので、町内の12か所の消火栓用のホースを自警団のみなさんと一緒に交換しました。寄贈いただきました方に改めてお礼を申し上げます。



歓迎

末永くよろしく願います。

十四組に藤野 雅善さんご一家が転入されました。

お悔み

安らかに眠りください

藤野 智恵子さん 享年九十四歳 (令和五年九月逝去)

鹿島 義雄さん 享年九十歳 (令和五年十二月逝去)

編集後記

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が昨年の5月から法律上の分類が五類に引き下げられてから、感染状況の把握が分かりづらくなってきましたが、過去の状況から見ると冬場には増加傾向にあります。加えて、例年ですと年末から増加するインフルエンザの患者数が昨年の秋から急激に増加し猛威を振るうなど心配な状況にあります。町民の皆さんにおかれましては、手洗いやうがい等基本的な予防対策や適度な運動に努めていただきたいと思います。

また、町内ではここの一、二年下水道や上水道そして歩道の整備など工事が続いています。この関係で通行止めなどの規制が行われ、ご苦労されていることも多いと思います。また、町内を南北に走る県道の交通量が増加し、加えてスピードを出したまま通行する車両も増えてきています。特に、集荷場前の十字路では、ヒヤッとすることがしばしば起こっています。工事や通行車両に気を付けていただき、事故にあわないよう十分気を付けていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆さんにとって有意義な年となりますようお祈り申し上げます。

青木 洋